

2016年/93分/日本/ドキュメンタリー/日本語字幕

監督・撮影・編集：小森はるか



(C) 2016 KASAMA FILM+KOMORI HARUKA

trace of breath

岩手県陸前高田市。荒涼とした大地に、ぽつんとたたずむ一軒の種苗店「佐藤たね屋」。東日本大震災の津波で自宅兼店舗を流された佐藤貞一さんは、その跡地に自力でプレハブを建て、営業を再開。

いっぼうで佐藤さんは、みずからの体験を独習した英語で綴り、自費出版していた…。

監督は映像作家の小森はるかさん。震災のあと、東京をはなれ陸前高田で暮らしはじめた彼女は、刻一刻と変わる町の風景と、そこで出会った人々の営みを記録してきた。

※エル・シネマは毎年3月8日の国際女性デーを記念して、女性監督の作品や女性をテーマとした作品を上映しています

## 上映会&トーク

2019年

**3月9日(土)**

**無料**

① 10:00~11:35

監督トーク

11:45~12:30

② 14:00~15:35

監督トーク

15:45~16:30

- 定員：各回 50 名 (入替制・自由席・要予約)
- 保育：15 人 (1 歳~就学前まで) 無料/要予約

- 電話：0797-86-4006 ●FAX：0797-83-2424
- 申込：2月1日(金)から先着順

窓口・電話 またはメール (HP より)

### 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

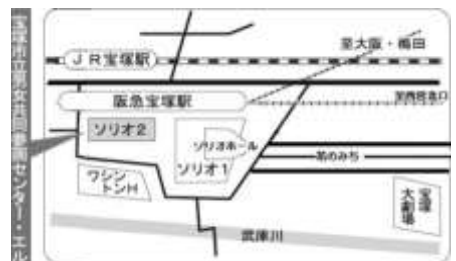
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ 2」 4 階

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

<https://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



細いホースのさきからちょろちょろと水が流れ、見えては  
いないポンプの音<sup>シン</sup>がそれにかぶさるとき、これが音響  
の映画だと人は忽然と理解する。不穏な津波の音に  
代わって、即席の井戸が<sup>シン</sup>いつきの生を謳歌するが、  
最後には解体されるしかない。あたかも、それが息の  
跡だ<sup>シン</sup>というかのように。傑作である。

**蓮實重彦** (映画評論家)

真の怪物“大津波”襲来後の、荒涼とした大地にぼつ  
んと残された男。「かつて普通の日本のたね屋だった」  
彼の生の形が、スクリーンに立ち上がる。大ヒット怪獣  
映画やアニメーション以上に心さわぎ、揺さぶられる  
のは、これが実在の人物の本物の戦いだからだ。

**澤田康彦** (『暮らしの手帖』編集長)

長い時を超えて今に伝わるどんな伝説や神話も、  
実際に机の上で文字に刻まれた時は、きっとこんな  
ふうだったに違いない。それをみごと捉えた監督の  
「息の跡」が、最後は叫びとなって天に立ち昇る。

**榎木野衣** (美術批評家、多摩美術大学教授)

## ひとりのたね屋が綴った、彼の町の物語 いまは、もういない誰かへ、まだいない誰かのために

岩手県陸前高田市。荒涼とした大地に、ぼつんとたたずむ一軒の種苗店「佐藤たね屋」。  
津波で自宅兼店舗を流された佐藤貞一さんは、その跡地に自力でプレハブを建て、営業  
を再開した。なにやらあやしげな手描きの看板に、瓦礫でつくった苗木のカート、山の落ち葉  
や鶏糞をまぜた苗床の土。水は、手掘りした井戸からポンプで汲みあげる。

いっぽうで佐藤さんは、みずからの体験を独習した英語で綴り、自費出版していた。タイト  
ルは「The Seed of Hope in the Heart」。その一節を朗々と読みあげる佐藤さんの声は、  
まるで壮大なファンタジー映画の語り部のように響く。さらに中国語やスペイン語での執筆  
にも挑戦する姿は、ロビンソン・クルーソーのようにも、ドン・キホーテのようにもみえる。彼は、  
なぜ不自由な外国語で書き続けるのか？ そこには何が書かれているのだろうか？



## ふわりとした、けれど、確かなまなざし まるで、生まれたばかりの映画のように

監督は、映像作家の小森はるか(『the place named』、『波のした、土のう  
え』\*瀬尾夏美との共同制作)。震災のあと、画家で作家の瀬尾夏美とともに  
東京をはなれ、陸前高田で暮らしはじめた彼女は、刻一刻とかわる町の  
風景と、そこで出会った人びとの営みを記録してきた。失ったものと残され  
たもの。かつてあったものと、これから消えてゆくもの。記憶と記録のあわい。  
そのかすかな痕跡とぬくもりを彼女はうつしだしていく。あの大きな出来事  
のあとで、映画に何ができたのか。そのひとつの答えがここにある。

fb.com/ikinoato @ikinoato www.ikinoato.com

2019年

**3月9日(土)**

**無料**

① 10:00~11:35

監督トーク

11:45~12:30

② 14:00~15:35

監督トーク

15:45~16:30